

『第 25 回福井県医学検査学会』が開催される

平成 23 年 5 月 22 日(日)、福井大学医学部附属病院臨床教育センター「白翁会ホール」において『第 25 回福井県医学検査学会』が開催された。

講演会では、福井県赤十字血液センター学術・品質情報課学術係長 吉田利明氏を講師にお招きし、“輸血副作用の発生状況、2009 年データ解析をもとに”をテーマに、全国の輸血副作用(非溶血性、溶血性など)や輸血関連感染症の報告件数の推移、使用製剤別副作用件数を始め、献血血液に対する核酸増幅検査(NAT)の実施状況などについて講演していただいた。

その後、平成 22 年度福臨技コントロールサーベイ・臨床検査データ標準化事業の各報告が行われた。一般・病理・血液・細菌からは各分野長よりフォトサーベイなどの解答と解説、さらに精度管理委員長 井村敏雄氏よりデータ標準化コントロールサーベイ分析結果と今後の活動についての説明があった。

引き続き行われた一般演題発表は、血液 4 題、微生物 1 題、生理 2 題、病理 1 題、生化学 2 題、教育・その他 2 題の計 12 題であった。若い会員からの発表も幾つかあり、本学会が今後の発表の足がかりとなれば幸いである。また、東日本大震災の被災地への救護活動参加についての発表もあり、検査技師として何が出来るかを問われる内容であった。発表者・座長の方々並びに参加された会員の皆様に厚く御礼申し上げます。



吉田利明氏による講演



臨床検査精度管理事業報告



一般演題発表